



生き生き人生 わくわく私

世界の子どもたちの ためにできることを

(財)日本ユニセフ協会愛媛県支部事務局長

谷岡 美佳さん (中山町出瀨)

谷岡さんに大きな転機が訪れたのは、3年前。日本ユニセフ協会大使のアグネス・チャンさんの講演で、世界の子どもたちの過酷な現状を知ったことに始まります。学校に行けず、地雷や戦争におびえて暮らす子どもたち。今も3秒に1人が5歳の誕生日を迎えられず命を落としています。

2007年3月に発足し、初代事務局長として活動しています。ユニセフは、子どもたちの命と健やかな成長を守るために、世界157の国と地域で活動する国連機関で、日本も戦後15年間、給食用の粉ミルクや薬などの支援を受けました。県支部では、募金活動のほかに、パネル展や教育機関などで、ユニセフの活動はなぜ必要か、自分たちにできることは何かを伝える啓発活動を行っています。「特に、物質的に豊かで平和な日本で育った子どもたちに、世界の子どもたちの過酷な現状を現実味を持って伝えるのは、難しいこと



▲県内の中学校で募金活動の贈呈式を行い、感謝状を送りました。

です。水汲みのために学校へ行けない子どもたちがいることを理解してもらおうと、実際にネパールの子どもたちが使っている水がめで水を運んでみる活動をしたこともありま

す。「現状を知り、何かしたいと感じることから始まりますから、啓発活動はとても大事です。一人ひとりにできることはわずかでも、ジューズを買う100円で、世界の子どもたちを救えることを時々いいから、思い出しもらえたら。」
中学生のころから、老人ホームの慰問などさまざまなボランティア活動を行ってきた谷岡さん。県支部設立は新たなスタートです。「これまでいろいろな人に支えられて、今の自分がある。だから、できる時にできることを、私で役に立つことがあるなら何かしたいな。という気持ちはいつもあるかもしれません。」もっと多くの人にユニセフの活動を知ってもらうこと、活動を県内各地に広げることなど、目標は数多くあります。「逆境の中においても、不思議と子どもたちは笑顔。それはなぜなのか。今年11月にあるフィリピンでの現地支援活動の視察に参加し、何が分かればと思っています。」

ボランティアスタッフ募集

(財)日本ユニセフ協会愛媛県支部

松山市朝生田町3-12-17、

コープえひめ南支所2階

☎ 9331153369